

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

題材名「幼児の生活と家族」〔学指要領：A(2)〕

令和〇年〇月〇日（〇） 第〇校時 〇年〇組教室
みどり市立笠懸中学校 〇年〇組 〇〇名 指導者 〇〇 〇〇

I 題材の構想

1 題材の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	・ 幼児の発達と生活の特徴、子供が育つ環境としての家族の役割、幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解する。	
思考力、判断力、表現力等	・ 幼児との関わり方について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	
学びに向かう力、人間性等	・ 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。	

2 評価規準

知識・技能	①幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ②幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。
思考・判断・表現	①幼児との関わり方について、問題を見いだして課題を設定している。 ②幼児との関わり方について考え、工夫している。 ③幼児との関わり方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④幼児との関わり方についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	①幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ②幼児との関わり方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③よりよい家庭生活の実現に向けて、幼児との関わり方を工夫し創造し、実践しようとしている。

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 ※別紙参照

4 題材の価値

本題材では、本校校庭南側に位置し、徒歩数分で訪ねることができる〇〇保育園で幼児との触れ合い体験を行う。幼児を観察したり、一緒に遊んだりするなどの直接的な体験を通して、幼児との関わり方や幼児にとっての遊びの意義について実感を伴って理解することができる。また、幼児と関わる際には、安全面や衛生面への配慮も必要であることも理解できる。さらに、触れ合い体験前には中学生同士で模擬触れ合い体験を行うことで、模擬体験した結果を振り返って改善点を考えたり、それを幼児との触れ合い体験に生かしたりすることができる。これらの活動を通して、幼児と触れ合うことの楽しさやよさを実感するとともに、これまでの自分の成長や生活も、家族や地域の人々に支えられてきたことに気付くことができる。そして、これからは家庭生活や地域を支える一員であることを自覚し、協力して生活していく必要感を高めることができる。

II 本時の学習（1／9）

- ねらい 自分の成長の振り返りや地域の思いを基に、中学生と幼児との関わりについて話し合うことを通して、題材の課題を設定し、解決するための学習計画を立てることができる。
- 展開

主な学習活動 予想される生徒の意識〔S〕	○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p>＜めあて＞</p> <p>自分の成長の振り返りや地域の思いを基に、中学生と幼児の関わりを考え、題材の課題と学習計画を立てよう。</p> <p>S：地域の保護者は中学生に関わってほしいと思っているけれど、幼児とどのように関わればよいのだろう。</p>	<p>○家庭分野の問題解決的な学習の過程を意識して取り組めるように、題材の導入である1時間目に行う活動と本時のゴールを問いかける。</p> <p>○幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、学習計画を立てるという目的意識を持つことができるように、地域の保護者が中学生に求めていることを表した事前アンケート（別紙参照）の集計結果を用意しておく。</p>
<p>2 自分の成長を振り返って感じたことや考えたことを話し合い、問題を見いだす。（20分）</p> <p>S：小さい頃は家族に迷惑をかけたり、驚かせるようないたづらをしたりすることもあったけれど、家族や周囲の人が優しく見守ってくれていたよ。自分がしてもらったように、近所の幼児に優しく声を掛けられるようになりたいな。</p> <p>S：地域の幼児を持つ保護者は中学生にお手本となる関わりを求めているのだな。だけれども、友達が言うように、どのように関われば小さい子が喜んでくれるか分からないから自信がないな。</p>	<p>○家族だけでなく多くの人に支えられて成長してきたことや、これからは自分たちも地域の幼児の成長を支える側になることに気付けるように、家族にインタビューをして気付いた自分の成長の振り返り（別紙参照）や、そこに関わった人たちをグループで伝え合うよう促す。</p> <p>○幼児との関わり方について問題を見いだすことができるように、今の自分にできること、まだできないこと、できるようになりたいことなどを視点に、話し合いで感じたり考えたりしたことを学習カードに記述するよう助言する。</p>
<p>3 幼児との関わりを考え、題材の課題を設定し、課題を解決するための学習計画を立てる。（20分）</p> <p>S：幼児だけでなく、幼児の保護者も、中学生の自分たちも、安心して笑顔になるような関わりができるようになりたい。</p> <p>＜題材の課題＞</p> <p>幼児も保護者も安心できるように、中学生として地域の幼児とどのように関わるとよいのだろう。</p> <p>S：幼児の成長や生活について知ったり、関わり方の練習をしたりしてから近くの保育園で実際に関わってみたいな。</p>	<p>○自分たちが追究していく題材の課題を検討できるように、幼児との関わりについて、できるようになりたいことに共通する思いを問いかける。</p> <p>○学習の見通しが持てるように、知りたいことやできるようになりたいことに着目しながら、自分たちが立てた課題を解決するための学習計画を立案するよう促す。</p> <p>◆評価項目（思1②）</p> <p>学習カードの記述や発言から、「幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決するための学習計画を立てているか」を評価する。</p>
<p>4 本時の振り返りをする。（5分）</p> <p>S：地域の幼児を持つ保護者は中学生に関わってほしいと思っていることが分かったから、地域の一員として自分たち中学生にできる幼児との関わり方を考えていきたい。</p> <p>＜振り返り＞</p> <p>S：小さい頃の思い出を友達と話したら、自分が意識していなかった人たちにも支えられて成長してきたことに気付くことができた。これから自分たち中学生も、支える側になって地域の幼児と関わっていく必要がある。次回からは、幼児がどのように成長していくのかや幼児の生活リズムなど、具体的な関わりをする前に、幼児のことを詳しく知りたいと思う。</p>	<p>○家庭分野の学び方が身に付いていることを実感できるように、生活の中から問題を見いだして課題を設定し、学習計画を立てられたことを称賛する。</p>

(別紙)

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全9時間：本時第1時) ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
家	・家族にインタビューをし、自分の成長を振り返る。			
1	・自分の成長の振り返りや地域の思いを基に、幼児との関わりを考え、題材の課題を設定し、解決するための学習計画を立てる。(a) <div>題材の課題 幼児も保護者も安心できるように、中学生として地域の幼児とどのように関わるとよいのだろうか。</div>		① ②	
2,3	・幼児を撮影した動画を基に、幼児の心身の発達の特徴について話し合う。(b)			①
4	・幼児と中学生の生活リズムを比較し、幼児の生活習慣や、幼児にとっての家族の役割について話し合う。(b)	①		②
5,6	・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方を調べ、触れ合い体験計画を立てる。(b)	②		③
7	・模擬触れ合い体験を行い、計画を見直す。		③	
8	・〇〇保育園で、幼児との触れ合い体験をする。	②	④	
9	・幼児と関わった感想を話し合い、題材全体の振り返りをする。			

* 活用するコンテンツ等：(a) 自分の成長をまとめたスライド (b) 幼児の様子を撮影した動画

【参考】

事前アンケート項目 (保護者対象)
「地域の保護者が中学生に求めていること」

1. 子育てをされていて楽しい、嬉しいと思うことは何ですか。
2. 子育てをされていて大変なこと、悩みは何ですか。
3. 地域の中学生とお子さんは普段関わりがありますか。ある方はどんな関わりがあるか教えてください。
(例：近隣の中学生と時々遊ぶ、地域の行事で交流がある)
4. 地域の中学生がお子さんの成長や生活を支えるために、何ができるか教えてください。
5. 子育て中に、家族以外の人(地域の中学生も含む)にしてもらって嬉しかったこと、楽しかったことはありますか。ある方はどんなことか教えてください。
(例：子供が泣いているときに近くにいた男性が優しい声をかけてくれた、外出時にエレベーターのボタンを一緒に乗った学生が代わりに押してくれた)